

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	土井 芳則	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9151		事務事業名称	後期高齢者医療保険料還付加算金						短縮コード	経常		臨時	9151
予算区分	会計	37	後期高齢者医療特別会計	款	03	諸支出金	項	01	償還金及び還付加算金	目	02	還付加算金		
区 分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☒ その他				根拠法令等		高齢者の医療の確保に関する法律							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
地方自治法に基づき、還付時に一定の計算により求めた還付加算金を付するもの。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
事業区分「その他」のため評価対象外						大項目（節）	01	保健・医療						
						中 項 目	02	医療						
						小項目（施策）	01	地域医療体制の整備・充実						
						細 項 目	02	医療費の給付等						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費	千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	保険料が還付される被保険者のうち、加算金が付される被保険者								
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 還付加算金を付して保険料を還付する者がいなかった。								
	※平成23年度に計画していること： 還付加算金を付する必要がある場合は、実施する。								
意図 （何を狙っているのか）	後期高齢者医療保険料を還付する際に一定の計算式により、還付加算金を付加する。								
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外								
区 分					単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
						実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし						
	指標 2								
	指標 3								
活動指標	指標 1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし						
	指標 2								
	指標 3								
成果指標	指標 1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし						
	指標 2								
	指標 3								
上位成果指標	指標 1								
	指標 2								
	指標 3								

コード		9151	事務事業名称	後期高齢者医療保険料還付加算金			所属名	長寿支援課
			単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	100	6	100	
	主な事業費の内訳			実施無し	償還金利子及び割引料	償還金利子及び割引料	償還金利子及び割引料	
人件費 (B)			千円	86. 6	85. 4	98. 2	85. 4	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	86. 6	185. 4	104. 2	185. 4	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由									
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている	事業区分「その他」のため評価対象外									
			☐ 結び付くが見直しの余地がある										
			☐ 結びつきが弱い・ない										
			☒ 評価対象外事項										
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	事業区分「その他」のため評価対象外									
			☐ 達成していない										
			☒ 評価対象外事項										
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	事業区分「その他」のため評価対象外									
			☐ 可能性はない										
			☒ 評価対象外事項										
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい	事業区分「その他」のため評価対象外									
			☐ 見直す必要がある										
☒ 評価対象外事項													
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	事業区分「その他」のため評価対象外									
			☐ 効率性向上の可能性はある										
			☐ 両方可能性はある										
			☒ 可能性がない										
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等										
			☐ 臨時的任用職員等の活用										
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し										
			☐ 受益者負担の見直し										
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法									2	
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）						☐ ある				
	☐ ない												

コード	9151	事務事業名称	後期高齢者医療保険料還付加算金			所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			事業区分「その他」のため評価対象外		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業区分「その他」のため評価対象外
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							
事業区分「その他」のため評価対象外							

所属長コメント	事業区分「その他」のため評価対象外						
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続		事業区分「その他」のため評価対象外				
	☐ 手法プロセスの改革・改善						
	☐ 事業規模の拡大・縮小						
	☐ 統合・役割見直し						
☐ その他							
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☐ 現状のまま継続							